

中項目	小項目		点検の観点	実施時期	点検結果 (要改善事項の有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
②授業科目・教育課程の編成実施	1.	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか等	毎年	無	教職専門科目の開設方法は法令に適合している。また、教員養成を目的とする教育学部とその他の学部での教職課程において共通に開設する授業科目も設定されており、教育学部が持つ強み・特色を生かした実施体制を構築していることを確認した。	・教職課程認定申請書 ・変更届（令和6年度のカリキュラム） ・2024年度授業科目及び担当教員名（*） （*）富山大学ウェブサイト「教員の養成の状況についての情報」に掲載 https://www.u-toyama.ac.jp/outline/information/teacher-training/	
②授業科目・教育課程の編成実施	3.	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか等	4年に1度 （2年目）	無	（教職総合支援センター） 法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られていることを確認した。 （教育学部） 「豊かな人間性と社会性、教育への情熱と使命感を持ち、教科や教職に関する専門知識と技能を身に付け、新たな教育的課題に適切に対応できる実践力のある教育人材を養成すること」を目的としており、教員として必要な幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に教育課程を編成している。	・教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画 ・カリキュラムマップ ・3つのポリシー ・各学部履修の手引き ・各学部等規則	
②授業科目・教育課程の編成実施	4.	I C T の活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか等	4年に1度 （2年目）	無	教育学部では、1年次に「基礎ゼミナール」にて情報機器類の活用やデータサイエンスについて学び、2年次には「小学校プログラミング教育の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」や各教科の指導法の中でAIやICT活用指導力について学びを深めていく。さらに3年次には「教育技術学」や「遠隔教育実践論」などの科目を履修し、教育データを活用した指導や情報活用能力の育成なども含めて、より横断的な学生のICT活用指導力を深めている。加えて、ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての科目を専門科目に必修科目として設置するなど、体系性のある教職課程となっている。	・教育学部卒業要件等（履修ハンドブック抜粋） ・シラバス「基礎ゼミナール」 ・シラバス「小学校プログラミング教育の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」 ・シラバス「教育技術学」 ・シラバス「遠隔教育実践論」	
②授業科目・教育課程の編成実施	5.	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・履修登録単位数の上限に関する内規 ・履修に関する取り扱いについて ・富山大学大学院教職実践開発研究科規則	
②授業科目・教育課程の編成実施	7.	個々の授業科目の到達目標の設定状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか等	4年に1度 （2年目）	無	教職専門科目の令和6年度シラバスを確認し、法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られていることを確認した。	令和6年度シラバス	
②授業科目・教育課程の編成実施	8.	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に記載されているか	4年に1度 （2年目）	無	令和6年度シラバスを確認し、教職職専門科目のシラバスが適切に作成されていることを確認した。	令和6年度シラバス	

中項目	小項目		点検の観点	実施時期	点検結果 (要改善事項の有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
②授業科目・教育課程の編成実施	9.	アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか等	4年(1度(2年目))	無	教育学部が開講する「教育技術学」では、ICTを利用した教育方法改善などについての学びを行っている。また、各教科の指導法においても、iPad等のタブレット端末を利用することで、動画記録を元にした振り返りや課題の共有などをとおして、学びを深める工夫を行うとともに、教科指導に対しどのようにICTを活用していくかについての指導を行っている。	・シラバス「教育技術学」 ・シラバス「理科教育法Ⅲ」 ・シラバス「初等体育科教育法Ⅰ」 ・シラバス「初等図画工作科教育法Ⅰ」	
③学修成果の把握・可視化	1.	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・富山大学GPA制度に関する規則 ・キャンパスガイド2024	
③学修成果の把握・可視化	2.	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・成績評価の分布表 ・各部署における成績評価分布の目標	
③学修成果の把握・可視化	4.	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか等	教育課程の内部質保証において実施	無		・成績評価の分布表 ・各部署における成績評価分布の目標	
④教職員組織	1.	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか等	毎年	無	学務部学務課は、全学の教員養成課程を統括し、人社会学務課は、人文学部、教育学部、人文社会芸術総合研究科、教職実践開発研究科について、芸術系総務・学務課は、芸術文化学部について、理工系学務課は、理学部、工学部、都市デザイン学部、理工学研究科について教職課程の事務を所掌している。それぞれの部署には複数人の教職課程に関する知識を有した事務職員が配置されていることを確認した。	・富山大学事務組織規則 ・事務組織図 (https://www.u-toyama.ac.jp/wp/wp-content/uploads/06_outline2024.pdf) ・事務職員数	
④教職員組織	3.	教員の配置の状況	教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足しているか等	毎年	無	教職課程認定基準で定められた必要な教職専任教員が配置できていることを確認した。	・令和6年度教職課程認定申請書 ・令和6年度からのカリキュラムの変更届	
④教職員組織	5.	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか等	教育課程の内部質保証において実施	無	各学期の2～3回目の授業で、Moodleでの授業評価ブレアンケートを行い、学生の意見を早い段階で授業に反映させる仕組みを実施し、その後の授業の改善と授業満足度の向上を図っている。	・授業評価アンケート	

中項目	小項目		点検の観点	実施時期	点検結果 (要改善事項の有無)	特記事項 (要改善事項、優れた取組・成果等)	根拠資料等	備考
⑤情報公表	1.	学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか等	毎年	無	大学のホームページのトップページから「大学紹介→情報公開」の中に教員の養成の状況についての情報として、法令に定められた情報を不足なく掲載していることを確認した。	・富山大学ウェブサイト「教員の養成の状況についての情報」（※再掲）	
⑤情報公表	2.	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか等	毎年	無	学生アンケートによると、教員に必要な資質に関する項目では、8項目中7項目において身に付けることができたという回答が90%を超えていることを確認した。	・令和6年度卒業者の教員免許状取得状況 ・令和6年度卒業者の教員への就職状況 ・令和6年度教員免許状取得者の自己評価（教員免許状取得状況調査）	
⑤情報公表	3.	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか	毎年	無	自己点検・評価に関する情報は、「大学トップページ→大学紹介→情報公開」の中に教員養成の状況についての情報において公開していることを確認した。	・富山大学ウェブサイト「教員の養成の状況についての情報」（※再掲）	